

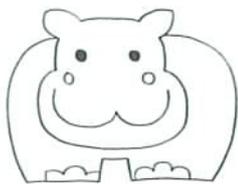


# 社会福祉法人 育成会

理事長 熊谷 繁治

## ■新しい時代の幕開け

支援費制度導入という画期的な変革の年度が始まりました。同時にいわき希望の園の開設という、当法人にとっては大変に慌ただしい幕開けでした。多少の混乱を覚悟しておりましたが、利用者の皆さんのおおらかな寛容の精神に支えられ、順調にすべりだすことが出来たことは大変に喜ばしく、この間真摯に支援への取り組みを行って来た職員の皆さん、また当法人を信頼し一貫してご協力をいただきてきた保護者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。



いわき希望の園  
鈴木 葉子

新しい時代の幕開け、ともに生きる社会の実現、ともに生きる社会の実現を推し進めることとなります。障がいを持つ人は自己選択による支援サービスの提供を受け、社会的自立を目指すことになり、私たち事業者はより質の高いサービスの提供を心掛けるとともに、利用者の自己実現に寄り添うなければなりません。これは従来からの当法人の理念と何ら変わるものではありませんが、私たちは自らの役割を明確にし、積極的に支援事業を推進するために内部機構を改革し、ITネットワークを構築しました。新しい態勢のもと新しい意気込みで、その重い責任を担って行く所存です。

## ■ハードの整備から

### ソフトの充実へ

いわき希望の園の開設により、当法人の進める生涯にわたる支援、利用者個別

のライフステージに沿った支援のハード面における整備が一段落しました。改めて関係各位に厚く御礼を申し上げます。また行政や地域社会のご理解に深く感謝を申し上げます。

希望の園は授産と更生という2つの機能を備えており、当法人全体では5つの機能群を持つことになりました。今後これらの機能をより個性化、専門化することにより利用者個別の高度のニーズに添えていくこととなります。それぞれの施設の機能の特性を高めるためには、より深く利用者のニーズの内容を把握し、必要な支援の方策を生み出していかねばなりません。個別の支援プログラムを集約し、分析することにより幾通りかの道筋を見いだすことが出来ます。5つの機能群(細分化すれば更に多くの機能を持つ)を有機的に活用することにより、個別支援の能力を飛躍的に高める事ができると考えております。



いわき希望の園  
倉田 雄介

大きな課題となって来ます。グループホームによる地域生活はすっかり定着して来ております。当法人でもいわき学園の「ひまわり」が今年度正式に制度上のグループホームとなる予定です。同じように自立生活訓練を行っている各施設の事業を活用し、引き続き希望者を募りながら地域生活移行を積極的に推進したいと考えます。

## ■「人としての尊厳」に思う

誰しも自分の意志で行動したい、誰しも他人に軽んぜられたくない。どんなに重い障がいを持っていても、誰にも人として当たり前の感情があります。尊厳の保持とは、その当たり前前の感情が大事にされることでしょう。権利擁護者であるべき我々事業者、職員、家族は常にその傍らに在る

存在としても、常に自分の言動を顧みなければならぬでしょう。私の友人で非常に重い障がいを持つ男女がこのほど結婚しました。二人とも車椅子ですから、当然多くの時間を介護者の助けを借りての生活です。この二人の結婚は周囲の想像の及ばないことでした。思い込みや偏見がどれだけ障がいを持つ人たちの生活を狭めていることでしょうか。豊かな想像力こそ、いま何よりも私たちに求められていることではないでしょうか。少しでも可能性が想像出来ることは、実現できるのです。

## ご 案 内

### 育成会総合相談窓口開設

(職員・利用者・保護者)

相談日 毎月第1・3金曜日  
14:00~16:00

場 所 育成会本部 (いわき学園2階)

相談員 育成会常務理事 江尻 定吉

受 付 育成会本部 (いわき学園2階)  
TEL・FAX 0246-43-4466

※できるだけ事前にご連絡下さい。

# いわき 希望の園

〒972-8312  
いわき市泉町黒須野字  
早稲田217-1  
TEL (0246) 75-0202  
FAX (0246) 56-0039  
kibou@ikuseikai.com

## 新たな時を迎えて

施設長 古川 敬

平成十五年四月一日、社会福祉法人育成会の第四・第五施設として「いわき希望の園（更生）」「いわき希望の園（授産）」が誕生いたしました。

この誕生が画期的である点の一つ目は、ひとつの建物に二つの異なる種別の施設を設置する福島県内初の「合築型施設」であるところです。

そして二つ目の点は、紆余曲折の中で施行された「支援費制度」と時を同じくしてスタートした点です。

そうした意味合いのもと、この施設の果たすべき役割が自ずと見えてきます。

それは、知的障害者福祉新時代を新たなシステムで構築するという壮大な使命

なのです。

スタートに当たり、多くの戸惑いや不安が存在することは否めない事実ですが、あらためて我々の使命を再確認するにつけ、利用される方々のライフステージ設計を全職員が担うのだという強い意志を持つ必要に迫られます。

もちろんそこには利用される方々の努力がなくてはなりません。

「職員と利用される方々が共に手を携え人生を謳歌する方法を見つけ出すこと」・・・本筋が見えてきました。



去る四月一日の良き日、利用者三十四名と保護者、関係職員が一同に会し開所式が開催されました。期待と不安の入りまじる中、立派に開所式に参加できた利用者の方々は、その後の会食会でやっとな緊張がとけたようでした。

(表紙写真参照)



## 観桜会

例年なら葉桜も予想される四月十一日。何と今年

は肌寒く、大剣公園（小名浜）の桜もほんのわずか・・・。それなら花よりオードブルと、あつという間に食べ尽くし、ゲームへ。手あそびから、バドミントンのラケットをバトン代わりにチーム対抗リレーと駆け回り、公園内の温度を5℃は上げ、帰る頃には桜も咲き始めましたとき。



## 希望の園開所にあたり

保護者会長 佐藤 善雄

初夏の候 育成会の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

希望クラブの念願でありました「希望の園」の建設に対して、育成会熊谷理事長様はじめ、育成会の各施設長様、職員の皆様、保護者会の皆様、協力会佐藤新五郎会長様、多くの皆様方のご指導、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

当母の会の皆様、平成十一年七月、施設建設期成同盟会発足以来、今日までのご協力ありがとうございます。

また、希望の園の建設に当り、地域の早稲田・金山の皆様方のご理解とご協力を頂き、平成十五年四月一日、入所式が行われました。

措置制度より支援費制度となりました記念すべき日もあります。

おかげさまで三十四名の利用者は、明るく、元気に、

楽しく、毎日通園させていただいております。

今後は、地域の皆様と生活を共に致しますので、特に地域の皆様と交流を深めより良い施設になる様に願っております。

## 自治会発足

当園において、利用者自治会が設立されました。

会長の鈴木猛さん、他6名の役員さんを中心に、今後様々な場面での活動、活躍を期待したいと思います。





〒972-8312  
いわき市宮下野尾町東作51  
TEL (0246) 43-4445  
FAX (0246) 44-4802  
gakuen@ikuseikai.com

### 施設長就任あいさつ

施設長 佐川 健一

「私たちはこの世では大きなことはできません。小さなことを大きな愛をもつてするだけです。」これはマザーテレサの言葉です。

いつか大きなことをしようと壮大な計画を立てるといった今、小さなことをする機会が失われます。

支援費制度という大きな改革がなされ対等の関係、利用者本位による契約の時代となりましたが、日々小さなことを積み重ねなければ、いくら理念だけをかざしてみても、前には進まない気がします。

今、授産施設はこの不況の中、けっして楽ではありません。しかし、新規自主製品の「納豆」の生産・販売を中心に授産施設の役割を果たすと共に、高齢化ではなくすでに高齢となった

方達や、日中活動の場として利用して下さる方達への支援とサービス提供をどのように構築して行くか、また地域で暮らす支援はどのように進めて行くのか等…。一人ひとりの状況は小さな事の積み重ねで解決しなければならぬ事が山積みです。

「あなたが耳を傾けなければ相手もあなたに耳を傾けない。」という言葉の様に、見逃してしまいそうな事に耳を傾け、逆に話を聞いてもらう事で一人ひとりの生涯を支えて行くことが大事だと思っています。

皆で「今一番大切な事は何か？」と一日一回ほんの一分でも自問する事が大事なのではないでしょうか。

### 観桜会で御満悦

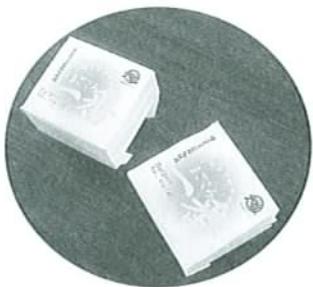
去る四月十一日(金)いわき学園、いわき光成園の合同観桜会が行われました。

桜の花の見頃に開催するのは、なかなか難しいものですが、総勢百二十九名で、オードブル、花見団子を囲



んでの会食で盛り上がりました。何と言っても皆さんの気持ちの一つになれるのは、「ピングゲーム」ではないでしょうか。一喜一憂しながら、思い思いに歓談し春のひと時を楽しく過ごしました。

### 納豆登場!!



平成十五年四月より、いわき学園の新たな授産事業

として、納豆製造を開始致しました。商品名は「いわきさわやか・まごころ一番」福島県産大豆(スズユタカ)100%使用。豆の味が楽しめる風味豊かな納豆に仕上がりました。是非一度、お試し下さい。お問い合わせは



初めまして、瀬谷操と申します。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



非常勤嘱託職員 瀬谷 操

### 新任職員紹介



非常勤嘱託職員 安藤 道子

いわき学園に非常勤嘱託職員として勤務の安藤道子です。毎日セッセとせんべい焼いています。

### 新自治会



会長 鈴木 孝 (小名浜)

副会長 渡辺 久仁子

副会長 諸橋 恵吾

書記 永山 正幸

会計 飯高 みづき

監事 本田 美登利

監事 甘南備 優子

以上7名

●自治会長より一言●  
よりよい自治会をめざして全員一丸になって頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひします。



〒974-8204  
いわき市高倉町鶴巻35  
TEL (0246) 62-2241  
FAX (0246) 62-2199  
ikuseien@ikuseikai.com

### 今後の展望

施設長 佐藤 總一郎

春の象徴でもある桜の花が開花し、淡いピンクに色づき始め心癒されるこの時に大幅な人事異動もあり、それぞれが様々な思いを胸に新天地へと異動された訳であります。利用者への

今年度に入り最初の行事である観桜会が、4月9日に小名浜の大畑公園にて行われました。同時に現地へ向かう前に不在者投票も行われ、誰に投票しようかと悩む顔・顔。その後、大畑公園へ向いいざ出発!!

## 観桜会

まだつぼみが固く、満開の桜の下で…という訳にはいきませんでした。オードブルを囲んで皆でワイワイ。

今年は職員の大幅な人事があり、職員の紹介も一緒に行われました。時間を忘れて、春の一日を楽しみました。



思いは「ひとつ」ということで平成十五年度のスタートになった訳であります。そして、今年度からは障害者福祉への新しい仕組みになり、「措置制度」から「支援費制度」へと百八十度転換された訳です。すなわち、行政処分から自己決定を尊重した利用者本位による契約の時代になったということです。しかし、本人主体での契約といっても、本当に本人が希望するグループホームやデイサービス等の施設があるのかといえに限られた中で契約となっていたのが現状です。新しい仕組みと現状がアンバランスの状態であるが、利用者へは出来る限り本人の意向に添えるような事業展開が必要であると思われま

す。育成園としては、十五年間の良い流れを止めることなくより勢いをつけ、利用者が日々楽しく安定した生活が得られるよう、より一層の環境改善を図り、個々に合った充実したサービスが提供できるような支援を考え邁進していきたいと思っております。

## 人事住来

異動・新任職員の紹介です!



## 自活訓練はじまる

育成園で行なっていた横町での自活訓練を通して、育成園の中で生活していた方たちにも、少しずつ変化が表れ始めていました。それは、「自分もアパートみたいところで暮らしてみたい…」という思い。そんな思いを形にするために、今年度から、いよいよ園の敷地内の自活訓練棟利用がスタートします。その名も「メゾン高倉」4名の利用者の方が、普通に暮らすってどんな感じ?という部分から体験を通して学び始めています。自分の部屋の掃除、食事の支度、沢山覚えることはあるけど、ちょっぴり誇らしげな顔・顔です。





〒972-8312  
いわき市常磐下船町東作53  
TEL (0246) 43-0012  
FAX (0246) 43-0013  
kouseien@ikuseikai.com

### 就任あいさつ

施設長 五十嵐 文男

平成十五年四月一日付、いわき光成園施設長に就任致しました。微力でありませんが、誠心誠意努力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

さて、障害者福祉制度（支援費制度）の導入により障害を持った方が自らの意志で行動のできる時代が到来致しました。本人にとって望ましい生き方を実現する為、制度上の諸々の支援（サービス）内容を考え、そして選択のできるような支援を展開していくことと、ライフステージを構築する上でのあらゆる支援を実施し幸福追求の実現を図るべく常に成長し続ける体制を築いていきたいと考えております。一人ひとりの障害

に応じた細分化された支援プログラムの構築と地域生活を重要なライフステージの一つと位置づけ、その為の地域生活に必要な知識と経験を享受する為の支援の実施と専門的な知識、有効な支援の内容を把握できる体制づくりの為に職員質の向上を充分に図り、将来、利用者が一人でも多く地域での生活が得られることを希望しつつ職員共々頑張っていきたいと考えております。又、皆さんの夢とともに成長し続けたいと願います。

### いいとも移動ギャラリー絵画展



5月の連休に、四倉町、ふれあい物産館内にある、くさの根にて、蒲生卓也さん、森岡祐一さん、星裕子さん、高瀬美幸さん、根本英宗さん、5名の絵画が展示されました。



### えぽっく日誌

No. 3

地域生活体験を実施することによって利用者の違う一面が発見できるように、利用者から普通段とは違う職員の姿が映し出されていることでしょうか。布団を並べ母親のように、テレビを観て爆笑する兄弟のように。そこでまた新しい信頼が生まれているのでしょうか。

## 園

## 遊

## 会

5月25日



### 職員から一言 (意気込み)

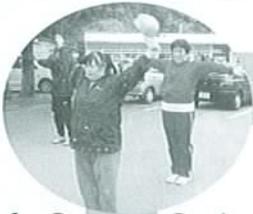
- 再会に感謝し新鮮な気持ちで頑張ります。 矢萩ユキ子
- 小さなことからこつこつと... 五十嵐正樹
- へんな事すると、すぐまねしちゃうぞ。 鈴木 啓弥
- 5月に女の子が誕生となりました。 永山 佳子
- 新米事務員です。がんばります。 根本 王大
- 元気一発！ 鈴木耕一郎
- 毎日、笑顔いっぱいですががんばります。 細淵 綾乃
- 明るく、楽しく、元気よくいくぞ!! 佐藤 ゆみ
- 根気よく頑張ります。 小野塚久子
- 元気が一番！新人パワーで頑張ります。 佐々木剛志
- 日々前進しパワーアップで頑張ります。 富田 君江
- 思いやり大切に頑張りたいと思います。 竹野 恭子

# 利用者活動記録 <いわき光成園>

## スタート!!

### 3回シリーズの③

〈ラジオ体操〉



9:30 1, 2, 3, 4...

〈朝の会〉



9:15 おはようございます



光成園到着!!



〈作業〉



9:30 体づくり



キャンドル作り



再生紙作業



学園実習



球技活動



音楽療法



水中運動



厨房実習



〈清掃〉



14:50



13:15 作業!! 3コ戻る

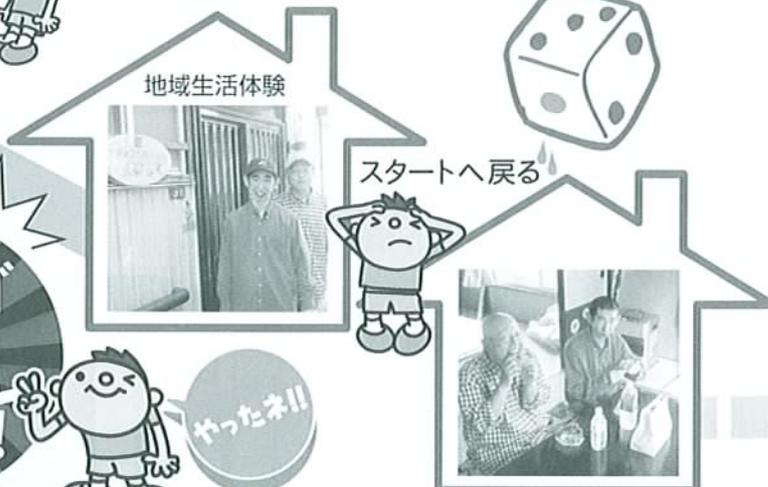


昼休み... 1回休み



12:00 おいしい給食

〈帰りの会〉



地域生活体験

スタートへ戻る

〈退園〉



15:45



# 至高のピストロ

今回の至高のピストロは生活習慣病の予防や老化を防ぐ働きがあるビタミンEが多く含まれている、アーモンドとかぼちゃを使ったメニューです。簡単ですのでぜひためして下さい。

## 「かぼちゃのサモサ」

### ● 材 料(4人分) ●

- ・かぼちゃ(皮を取って).....250g
- ・プロセスチーズ.....20g
- ・玉ねぎ.....30g
- ・スライスアーモンド.....20g
- ・パセリ.....適宜
- ・カレー粉.....小さじ1/2
- ・ギョーザの皮.....1袋
- ・揚げ油

### ■ 作り方 ■

- ① かぼちゃは食べやすい大きさに切り、ラップに包んでレンジで4分半~5分加熱して中まで火を通し、熱いうちにマッシャーなどでつぶし、粗熱を取っておく。
- ② プロセスチーズは5ミリ角に切り、玉ねぎ、パセリはみじん切りにする。
- ③ スライスアーモンドはからいりしておく。
- ④ 玉ねぎはラップに包んで、レンジで1分加熱し、粗熱を取る。
- ⑤ ①②③を混ぜ合わせ、種を作る。
- ⑥ ⑤をギョーザの皮にのせ、ひだが三つになるように包む。
- ⑦ 170~180度に熱した油で⑥をからりと揚げる。



・エネルギー 228kcal  
 ・たんぱく質 6.6g  
 ・塩 分 0.3g  
 (一人当り)

## トピックス

いわき育成園がトピックスです!!

この度敷地内に昨年9月から建設を進めていた自立訓練棟が完成しました。自立訓練棟は木造二階建てで、延べ床面積は約百三十平方メートル。二階はリビングルームとダイニングキッチン、世話人用の和室と浴室など、二階には利用者用の

六畳の洋室が四室あります。総工費は千九百七十万円、このうち千四百十八万円を日本自転車振興会が競輪の収益から助成しています。自立訓練棟(ホーム高倉)

では、入所者が地域生活へスムーズに移行できるように日常生活の訓練を行います。また、同敷地内にシイタケの栽培小屋として



使っていた建物の骨組みを利用して改築した多目的作業棟も完成しました。床は全面板張りでも明るい雰囲気。入所者の機能訓練などに活用しています。

## 夜勤日誌

今日は初めての一人での夜勤。無事に朝を迎えられることだけを祈る私とは対照的に、利用者はいつもと変わらぬ夜を思い思いに過ごしている。テレビから流れてくる演歌を聴いて涙を流す人、漫画本を抱えてひたすらソファに座り続ける人...

私にとっては仕事である夜勤も彼女達にとっては日常の一コマに過ぎないことを改めて感じる。消灯時間になっても、まだまだ夜は更けることなく、ある部屋では恒例の乾布摩擦が行われている。ちなみに、私はまだ忍びの修業が足りないのか(?)彼女の乾布摩擦をお目にかかったことがないのです。

## 編集後記

今年度、最初のゆうゆう発行となった今回は、新たに希望の園のページが加わり特集しました。また、今号で利用者のページが最終回となり、次号より希望の園のページとなります。

紙面割りがリニューアルされ、これまで以上に充実した内容をお知らせしたいと思っておりますので、ご期待ください。